

夢コープニュース



〒420-0851 静岡県葵区黒金町 12-5 丸伸ビル 6F
 TEL (054) 275-1100 / FAX (054) 275-1133
 MAIL honbu@yumecoop.jp / URL http://www.yumecoop.jp/

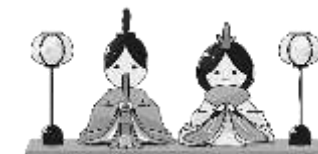
各地の花の知らせを聞き、春の始まりを感じています。日が長くなったなあと思っていたら、今月の21日はもう春分の日。季節の移り変わりを感じますね。

2021年度はあと1カ月ほどとなりました。一昨年から引き続き、コロナ感染症対策に明け暮れた年だったというのが実感です。終息を心待ちにしていますが、まだしばらく個々の感染防止の意識を高く持ち続けることが必要です。

コロナ感染に関連して、1月中旬から2月下旬にかけて、ご利用者が利用する施設の休業をうけ様々な事態が発生しました。ケアマネジャーはサービスの再調整を行ったり、陽性となったご利用者へ防護服を身に付け感染防止を徹底して訪問したケースがありました。濃厚接触者となってしばらく仕事を休まざるを得ない状況となった職員もいました。代わりに

急遽シフトに入ってくれた仲間や仕事のフォローをしてくれた方がいて、必要なサービスを継続することができました。改めて仲間の協力のありがたさを痛感し、夢コープは、会員一人ひとりの力とともにお互いを思いやる気持ちに支えられているのだと深く感じています。

また、感染予防のために、オンラインでの研修や会議をすることが普通となりました。パソコンやスマホを得意としていない多くの職員たちも新しい状況に対応しながら、今では使い方に慣れ、活用できるようになりました。これからも、新しい状況に適応する努力をしていきたいと思ひます。

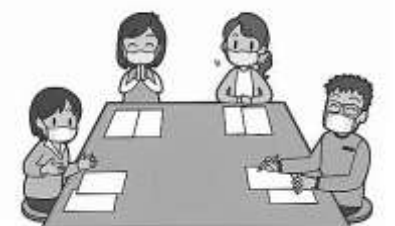


理事長 杉井 初世

皆で工夫して開催したミーティング！！

2021年度の4回のミーティングは在宅ワーク中心でした。集まれる時には、少人数で回数を分けて感染予防対策を徹底しました。今までと違った形式ですが、各事業所で実出席者を増やせるように工夫して開催しました。ミーティングの際に企画した研修テーマは
 ①プライバシー保護・事故対応 ②認知症ケア ③ハラスメント・虐待防止 ④災害対応・感染症対策でした。

研修したり、笑い、食べ、話し、自由に交流できたコロナ以前はなんと楽しかったでしょう。かつてのように皆で一緒に集まれる時が待ち遠しいです。「みんなでケーキを食べて話したいよね」と言っていたヘルパーさんもいました。離れた家族との交流もままならぬ年でした。コロナウイルスの心配がなくなるその時まで、皆元気に過ごしていただきますようお願いいたします。



身体ケアを大切に、託児のスキルアップを図る！

(島田市委託託児員派遣事業)

今年度託児員研修を2回行いました。1つは「託児のための身体ケア」です。この仕事が好きで、やりがいをもって取り組まれている託児員の皆さんですが、泣いてしまうお子さんを抱っこやおんぶすることは、予想以上に身体に負担がかかることと思います。そこで今回は女性の鍼灸師さんを講師に迎え、健康な身体をつくる食生活に関するお話や、腰痛予防のためにインナーマッスルを鍛える簡単なエクササイズ方法を教えて頂きました。日々の健康の維持に役立て、これからも長く託児を続けて頂きたいと思ひます。



もう一つは「託児に役立つ保育の話」として、保育士さん(元夢コープ託児員)に、手作りおもちゃの紹介や子どもの発達段階のお話、感染症対策まで幅広く教えて頂きました。

発達段階のことは、まだまだ知らないことがたくさんありました。これからも身体のケアを大切に、託児員としてのスキルアップをしていけるような研修を行っていきます。



事業所
リレー
つうしん



this month
3月
中部事業所

定例理事会 2月22日(火) 承認事項

- ①異動に関する承認事項
- ②賞与の考え方に関する承認事項

体調不良の際は早めに病院へ行きましょう！！

先日夢コープ会員として活躍されていたヘルパーさんが突然お亡くなりになりました。夢コープ発足当時から在籍し、いつも元気いっぱいのムードメーカーでした。夢コープの中だけでなく、地域ではボランティアの活動を活発にされていました。お悔やみ申し上げます。

災害や病気などの場合、「自分は大丈夫」という「正常性バイアス」が「この程度なら大丈夫」といった過小評価につながり、逆に被害を拡大してしまうことがあります。病院は嫌い、検査なんかしたくないとお考えの方もいらっしゃると思いますが、健康診断での異常や何らかの予兆がある場合、重大な事態になる前にぜひ早めに専門医の診察を受けて、元気に過ごしたいものです。



1月度活動結果報告

夢コープ会員数	410名	実働数	356名
---------	------	-----	------

事業	活動時間数
くらしの助け合い	2,367.50 時間
介護保険 訪問系サービス	4,746.00 時間
障害福祉サービス	1,612.25 時間

居宅介護支援	要介護	総合支援
	552名	260名

施設名	開所日	当月利用者数	利用者数/1日
どうその家	24日	24名	7.21名
夢コープふじ	24日	18名	8.75名
夢コープいた	15日	31名	6.60名

交通安全スローガン

安全は 慣れた道こそ 左右見て

40歳を過ぎたら目の点検！！

ふと気づいた見えにくさを

『歳のせいとして片付けないで!!』
自分自身の視機能を振り返る機会にして、
迷わず専門医を受診しましょう。



異常を早期発見できれば、高度な視機能障害に至るのを防ぐことが可能です。治療が必要でない状態であっても、症状を改善する方法を見つけることによって、生涯にわたり快適な視機能を維持することは健康寿命を伸ばすことにつながります。一人ひとりが自分の視機能の状態・重要性を認識することが大切です。

2021年の意識調査では、40歳を超えると47.7%が目の不自由を感じていて、88.5%が目で見えにくくなることがあると報告されています。しかし、それにも関わらず、生活習慣病及びその原因となる生活習慣などの課題に対して取り組むべき項目の中には、視覚を含めた『感覚器』に関しては取り上げられていません。自らで大切な目を守るための行動が必要です。

☆加齢による代表的な眼疾患は：老眼 白内障 緑内障 網膜疾患 など
特に緑内障で視野が欠けていることは自覚しにくく、診断された時に約6割が何も問題は感じていなかったと回答しています。

では、問題を感じていなかったのに受診した理由は？
「検診や眼科受診中に眼科医に勧められた方が合わせて8割以上です。」



セルフチェック チェック表 🔍 2つ以上当てはまった人はアイフレイルかも？

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ① 目が疲れやすくなった | <input type="checkbox"/> |
| ② 夕方になると見えにくくなることもある | <input type="checkbox"/> |
| ③ 新聞や本を長時間見ることが少なくなった | <input type="checkbox"/> |
| ④ 食事の時にテーブルを汚すことがある | <input type="checkbox"/> |
| ⑤ 眼鏡をかけてもよく見えないと感じることが多くなった | <input type="checkbox"/> |
| ⑥ まぶしく感じやすい | <input type="checkbox"/> |
| ⑦ まばたきしないとはっきり見えないことがある | <input type="checkbox"/> |
| ⑧ まっすぐの線が波打って見えることがある | <input type="checkbox"/> |
| ⑨ 段差や階段で危ないと感じたことがある | <input type="checkbox"/> |
| ⑩ 信号や道路標識を見落としたことがある | <input type="checkbox"/> |



アイフレイル啓発公式サイト
(視野の欠けや見え方のチェックをすることもできます)
<https://www.eye-frail.jp/checklist/>

スマホで、
QRコードから
みてね!



【日本眼科学会 参照】

疫病退散! 今も昔も



新型コロナの感染拡大で、疫病退散を願う存在として江戸時代後期の妖怪「アマビエ」が話題になりました。未知のウイルスの感染拡大にともない、医療の発達した現在でも心の不安は解消されません。江戸時代後期から現代にかけて人々が願ってきた疫病退散への思いをたどってみます。

江戸時代 …豪傑、妖怪、赤のまじない

感染症は疫病の神や妖怪が起こすものと考えられていた。たびたび流行し、人々が恐れた「疱瘡(※1)」は疱瘡神が人々に取りついて発病するものと信じられていた。その疱瘡神を退散させるために登場したのが源為朝ら歴史上の豪傑や金太郎といった怪力の持ち主だった。人々は魔除けとして源為朝らが登場する浮世絵や「疱瘡絵(赤絵)」を病人への見舞い品として贈ったり部屋に貼ったりした。また、特殊な力を秘める赤い色を疱瘡神が嫌がるという迷信を信じていた。そのため「赤べこ」「だるま」「赤ミミズク」を神棚に置いたり、赤飯や梅干しを食べた。



赤ミミズク

現在 …苦しさや不安に寄り添う穏やかなキャラクター

アマビエ

江戸時代後期の瓦版に登場した半鳥半魚の妖怪。肥後国(現熊本県)の海に現れ「この先6年間は豊作が続くが同時に疫病が流行するから私の絵を描き写し人々に見せよ」と言い伝えを残し海に消えたとされる。新型コロナという疫病退散の願いを込めてSNSに投稿が急増した。



ヨゲンノトリ

江戸時代末期にコレラ(※2)の流行を予言したとされる不思議な鳥。甲斐国市川村(現山梨市)の村役人喜左衛門が残した「暴瀉病(ぼうしゃびょう)流行日記」にふたつの頭を持つ鳥として描かれている。「来年の8、9月のころ、世の中の人々が9割方死ぬという難が起こる。私の姿を朝夕に仰ぎ、信心するものは必ずその難を逃れることができるだろう」とコレラの流行ともとれる予言を残している。



※1 疱瘡…天然痘。「疱瘡は見目(器量)定めめの病」といわれ、「あばた」が残ったり失明の危険性もあった。伊達政宗の独眼もその後遺症。

※2 コレラ…症状の進行が早く、2~3日もたたずに「コロリコロリ」と亡くなるが多かったため「3日ころり」「コロリ」と呼ばれた。